



株式会社アミューズ

海外に展開するクラウドベースの基幹システムをFortiWebで防御

日本を代表するアーティストを多く抱える総合エンターテインメント企業、株式会社アミューズ(以下、アミューズ)は、「感動だけが人の心を打ち抜ける」を企業理念に掲げ、「ライブイズム」を原点としながら、コンテンツホルダーとして日本だけでなく海外でも事業を展開している。海外に新設する拠点からは、インターネットで同社のクラウドベースの基幹システムにアクセスできる柔軟な対応を実現。そのため高い機密性が必要な基幹システムのセキュリティ対策を強化するためにWebアプリケーションファイアウォールの導入を決定した。同社のIT企画部次長 大西 善雄氏にフォーティネットのFortiWebを採用した経緯を聞いた。



株式会社アミューズ

所在地：
東京都渋谷区桜丘町20番1号

設立：
1978年

事業内容：
アーティストマネージメント業、
コンテンツ制作事業、イベント運営、
著作権事業、広告代理店業など



株式会社アミューズ
IT企画部 次長
大西 善雄氏

セキュリティの重要性 ネットを使ったビジネスの台頭

アミューズは、有名アーティストを多数抱え、アーティストマネージメントやライブなどの興行、CDおよびDVDの著作権事業などを主たる事業としています。

併せてここ数年は、自社で運営するオンラインショップを中心としたアーティスト関連グッズの販売、Webによるファンクラブシステム、電子チケットなど、ネットを使ったビジネス収益も増えてきています。

過去の教訓を活かす

ただ、そんな状況の中、当社では過去に自社サイトが情報漏えい事件に遭い、お客様にご迷惑をお掛けしてしまいました。ネットビジネスは企業として必要だとはいえ、セキュリティを疎かにすると、お客様にもアーティストにも迷惑を掛けてしまう。

この事件を教訓にシステムセキュリティ体制を大きく見直し、Web公開されるシステムは全てセキュリティチェックを行うことをルールとして決めました。

Webアプリケーションファイアウォール (WAF) の導入 WAFを検討するまで

今回セキュリティチェックの対象にしたシステムは、某社のプライベートクラウドサービス上で動いているアプリケーションです。このシステムは機密性が高い情報を多く保有しています。また今までは社内向けシステムでしたが、アジア進出に伴う拠点の新設に対応出来るよう、インターネットアクセスは必須になりました。ですので、インターネットアクセスを許すと同時に最大限のセキュリティ施策が必要になりました。

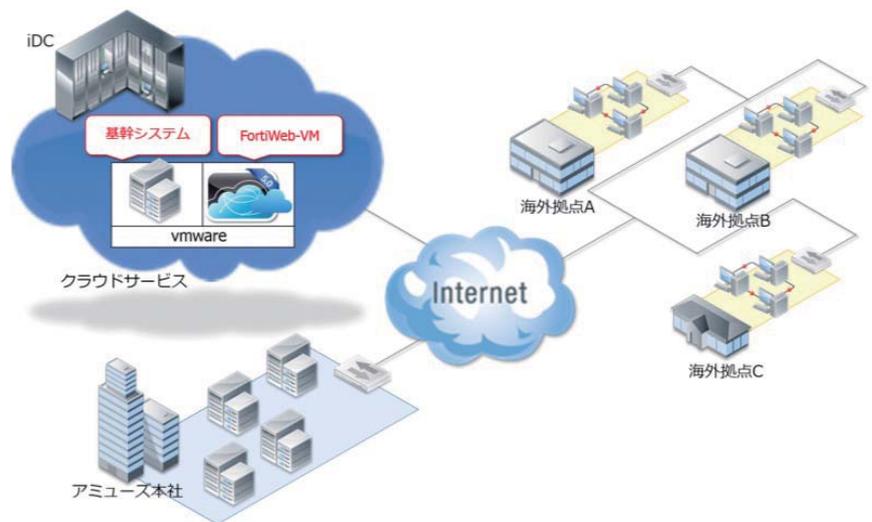
Webアプリケーションファイアウォール FortiWeb

FortiWebは、通常のファイアウォールでは防げないWebアプリケーションに対する攻撃からWebサイトを防御するセキュリティアプライアンスです。WAF(Webアプリケーションファイアウォール)/XMLファイアウォールによる防御に加え、脆弱性の診断、Webページの改ざんを検知した際の自動復旧機能や、クレジットカード番号漏洩検知とブロック機能を搭載。また、クレジットカード業界における国際標準、PCI DSS 要件6.6にも準拠しています。



そこで、当社では3つの施策を検討しました。1つ目は、現地法人事務所にアクセス制御システムの導入(不正持込PCの制御)、2つ目は、システムの脆弱性診断の実施、そして3つ目がWebアプリケーションファイアウォール(以下、WAF)の導入です。脆弱性診断により抽出された脆弱性は、直ぐに改修をしました。主管部署との話し合いの中で「脆弱性を全部潰せばそれで解決じゃないの?」という声があったのも事実です。しかし、改修の漏れや今後の機能拡張などを考えると、脆弱性をずっとゼロにし続けることは、不可能なので慎重を期し、多層防御の観点からWAFの検討を進めました。

アミューズ システム構成



仮想環境にも対応する FortiWeb どのWAFを選ぶべきか

WAFを検討する場合、機能面と合わせて、その提供形態が重要です。市場には、アプライアンス型、ソフトウェア型、SaaS型、仮想版型など多岐にわたる種類がありますが、まずは機能で選別しました。WAFの基本機能は大前提ですが、それだけだとメジャー製品の中では選別が困難でした。ですので、基本機能に加え、如何に付加価値を持っているかを加点ポイントにしました。また、今回対象のシステムは某社のプライベートクラウドサービス上で動いているアプリケーションです。ですので、このサービス上で稼働できるWAFを選ぶ必要がありました。

機能が豊富な FortiWeb-VMを選定

先ほどもお話したように、このロケーションで稼働する製品で、且つ基本機能以外の付加価値を持っているという点でした。環境面でいうと、FortiWebはアプライアンスだけでなく、VM環境版が用意されていることです。さらに機能面では、他のWAFには無い、Web改ざん検知機能と脆弱性スキャナー機能、それからアンチウイルス機能が決め手になりました。特にエンターテインメント業界がターゲットとされ、Web改ざんが頻繁に起きている今日において、改ざん検知機能は魅力的でした。また、経営層に導入効果を見せる必要があり、分かり易いレポート出力というのも必須な要素でした。もちろん、コストも重要な要素でした。というのも、もともと予算化しておらず、必要に迫られて臨時で検討したため、低コストで導入できるというのもFortiWebの選定ポイントでありました。

導入の効果

導入後、毎日レポートをチェックしておりますが、厳しい状況がうかがえます。FortiWebがなかったら、すぐさま攻撃が成立するものではありませんが、Webサーバーに到達する手前で攻撃を防御しているという安堵感があります。

今後の展開

常にセキュリティを意識したIT資産、サービスの運用に努める

アジア進出などを進める一方、海外からの脅威が更に増えてゆく中で前述のような安堵感を得られることは、我々のステークホルダーへの責任を果たす意味合いでも非常に大切なポイントとなります。常にセキュリティ意識を忘れずマルウェア対策など今までのセキュリティ施策では通用しない部分をよく見極め、且つ過剰投資にならぬようITの運用を進めていきたいと思っております。

FORTINET®

フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032
東京都港区六本木 7-18-18
住友不動産六本木通ビル 8階
www.fortinet.co.jp/contact

お問い合わせ